



百八十七ヘクタール、芋類は九十二ヘクタール、豆類は四百三十八ヘクタール、野菜は九百六十一ヘクタールで合計三千六百七十八ヘクタールとなり、担い手は約三千三百四十人が必要となる。

〔掲載以外の質問事項〕

二 環境保全型農業の推進について

三 バイオマスエネルギー開発についての提案

四 土浦農業公社の一層の改革・改善への提案



竹内 裕 議員

学校図書館の現状と今後の対策について

△質問▽

学校図書館の図書整備については、文部科学省は一九九三年に学校図書館標準図書を小学校十二学級で七千九百六十冊、十八学級で一万三千六十冊、二十四学級で一万五千五百六十冊、中学校は九学級で九千四十冊、十二学級で一万六千六十冊と決めた。土浦市の学校図書館標準図書

達成の現状はどうなっているか、伺う。

△教育長▽

平成十七年度末現在で、小学校では学校図書標準数十五万二千冊に対して蔵書数十三万三千二百六十七冊で、八十七・七パーセントの達成率である。前年度比較で三・二ポイント、約五千冊の増加である。中学校では学校図書標準数八万六千二百四十冊に対して蔵書数六万五千九百九十一冊で、七十六・五パーセントの達成率である。前年度比較で六・四ポイント、約三千五百冊の増加である。小中学校とも達成率は着実に上昇しているが、今後も各学校への配分などを十分に考慮しながら達成率の向上に努めてまいりたい。

〔掲載以外の質問事項〕

二 土浦市さわやか環境条例の「空き地の美化」対策について



荒井 武 議員

青色防犯灯設置について

△質問▽

報道によると、防犯の最前線で青色が注目を集めている。青色は興奮を抑え、気持ちを落ち着かせる色とされ、犯罪を抑止するのに効果的である。他市の事例でも、色彩効果として心を落ち着かせるといった心理的な作用が働くといわれ、これらの作用が犯罪を起さず、これら状況をもたらしたのではないかとされている。本市でも犯罪の多い地域で実施してはどうか。

△市民生活部長▽

青色の効果は、生理学的に、血圧を下げる、脈拍が落ち着くといった効果があるとされており、青色の鎮静作用が本能的な衝動を抑えるため、衝動的な犯罪を抑止する効果があるとされている。青色防犯灯の導入は、奈良県・広島県・静岡県等で試験的に進められており、県内では、守谷市が二カ所の住宅地をモデル地域として、実証テストが始まっている。青色の防犯灯は、白色のものと比べて、光が道路全体に広がるため、遠くまで見渡せたという声もあるが、一方で、単価が倍近く高く、かつ寿命が短いことが青色防

犯灯を広める上でのネックと考えられるため、先進地における取り組みを注視し、実証テストの結果等を踏まえ、検討してまいりたい。

〔掲載以外の質問事項〕

二 自転車運転取締強化

都市再生機構との随意契約と覚書の経緯について

土浦市は、土浦駅前北地区市街地再開発事業の促進について、以前の都市基盤整備公団、現在の都市再生機構との間にコンサルティング業務等に積極的に関与しているが、どのような経緯と判断で交わしたのか、また、随意契約で計画書作成調査業務委託をしているが、この随意契約の経緯と必要性についても伺いたい。

△助役▽

土浦駅前北地区については、平成五年度から十二年度まで都市基盤整備公団により事業



中田 正広 議員

△質問▽

化に向け作業を進めてきた。同年十一月に都市基盤整備公団事業評価監視委員会において、公団による再開発事業の中止決定に当たり「公団は今後本市の要請に基づきコンサルティング業務等に積極的に取り組む、事業の再構築に協力する」との意見が付された。また、中心市街地活性化の政策課題に対処するには、公団の協力が必要なことから、公団と覚書を締結した。その後、まちづくり調査推進計画等の策定業務委託については、その計画の目的、内容に的確に対応する資力、経験等を有し、その目的を達成する上で妥当であり、ひいては本市の利益増進につながると判断し、都市再生機構と随意契約を行ったところである。

〔掲載以外の質問事項〕

一 ②駅北地区開発のマンション建設計画と住宅公社の失敗と反省について助役の考え方を伺いたい③コンサルタント会社による基本計画における調査内容について④今後の資金計画と整備計画について